

たのしかったビンゴ大会

ビンゴ大会を楽しむ利用者様と職員たち。利用者様の笑顔を見る時こそが、介護という仕事に携わって本当に良かったと感じるひと時です。



ふたばよもやま話 (第三十二回)

~わっしょい百万夏まつり~

北九州市制25周年(昭和63年)を機に、市民意識の一体化や市の活性化、イメージアップを目的に誕生した市民参加型のイベントが「わっしょい百万夏まつり」です。

開催当初は「1回限り」のイベントとして企画実施されましたが、その反響の大きさから今日まで継続され、現在では、市民の間で「わっしょい」の略称で親しまれるなど、夏の風物詩としてすっかり定着しています。

「わっしょい百万夏まつり」は数々の内容で構成されていますが、やはりメインとなるのは市内各地の祭りが大集合することではないでしょうか。「大里電照山笠」、「小倉祇園太鼓」、「長浜貴布禰神社神輿」、「曾根の神幸祭」、「若松五平太ばやし」、「八幡東ねぶた」、「黒崎祇園山笠」、「戸畑祇園大山笠」などの北九州の祭りが集結し、会場は大変な熱気に包まれます。

双葉苑の職員も参加し、地域の伝統芸能の継承に一役買っています。



「わっしょい百万夏まつり公式ホームページより」
祭り会場に鳴り響く小倉祇園太鼓



当苑職員も参加した戸畑祇園提灯
大山笠「讀賣新聞オンラインニュースより」

職員紹介コーナー

今回紹介するのは、双葉苑のエース・我々が介護主任の佐々木啓太さんです。
いつも優しい笑顔と絶やさぬ佐々木さんは、利用者様からは勿論、ご家族様や職員達と多方面から「愛されキャラ」として親しまれ、毎日キラキラと双葉苑を明るく照らしています。しかしながら、そこは主任。やる時はやる、有言実行の男です。主任として全介護職員の先頭に立ち、利用者様にとってより良い住環境にするべく日々奮闘する姿は、とても頼もしく、周囲からの信頼も絶大です。まさに今の双葉苑にとって、なくてはならない「唯一無二」の存在です。
そんな佐々木さんの、一番の楽しみは、家族とのコミュニケーション。また、休日にはサウナで「整える」のが至福の時だそうです。しっかりと心と身体を労わって、これからも双葉苑でリーダーシップを存分に発揮してくださいね。(A談)



【編集雑記】▼本来、農業を主体として長い歴史を刻んできた日本において、春の祭りや秋の祭りは一体であると、以前神職さんから聞いたことがある▼春に「今年も災害なく、お米がたくさんできますように」と神さまにお祈りするのが春祭り。「たくさんのお米ができて、ありがとーございまして」と神さまにお礼の意味でお祭りをするのが秋祭りというわけである▼小倉祇園や戸畑祇園などの祇園祭りは、災厄を祓ってくれるというスサノオの神に「厳しい夏を無事過せませすように」と祈願する祭りである。賑やかなことが大好きなスサノオの神に喜んでいただくため、鳴り物を入れ、賑やかに騒ぐわけである▼市内各地区の祭りが一堂に会する「わっしょい百万夏まつり」『夏まつり大集合』は、春祭り、秋祭り、そして祇園祭りが大集合するイベントで、このような例は全国でも非常に珍しいのではないだろうか▼もともと祭りは神仏に祈願する神事仏事であるとともに、地域住民のレクリエーションであり、また娯楽でもあった。さらには、男女の出会いの場という一面もあつたと言われている。祭りで活躍する姿は実に勇ましく、また美しくもある▼北九州の夏の風物詩として定着した「わっしょい百万夏まつり」には、当苑の職員も参加していると書いたが、実に素晴らしいことだと思う。祭りの話題を通して利用者様とコミュニケーションを深める等、仕事に大いに役立ててほしいものだ

9月お誕生日おめでとうございます



今月の予定 (10月)

- 石橋胃腸内科医院 回診 (毎月曜日)
6日、20日、27日
- ますゆき皮膚科クリニック 回診
2日(木)
- 小倉南歯科医院 回診 (毎火・木曜日)
2日、7日、9日、14日、16日、21日、23日、28日、30日
- ビューティヘルパー (訪問理美容)
15日(水)
- ハロウィン
10月下旬